

平塚市行政改革推進委員会(事業評価)の結果について

事業No.	1							
事業名	小中学校・幼稚園研究推進事業			所管課	教育研究所			
判定結果	見直し		傍聴者数	27人				
判定内訳	現行 どおり	0	見直し	7	国・県	0	廃止	0

事業評価シートの記載内容

【委員長】 見直し

- ・事業の成果(学校の評価(効果)、教員の評価(効果))を示せないのが重大な問題。
- ・特別研究校の選定のやり方、金額設定を変えるためにも成果測定が必要。
- ・手を挙げない学校へ一律4万というのも悪しきバラマキに見えてしまう。

【副委員長】 見直し

- ・成果指標をしっかりと検討すべき。
- ・各校のテーマについて、研究所がある程度リーダーシップを取るべき。

【A委員】 見直し…事業費を削減するべき、事業内容を見直すべき

- ・特別研究校の数を絞り込み、ローテーションで全ての学校が対象となるようにしていくべき(教育研究所が主体的に動くべき)。
- ・学校改革推進支援事業40,000円と20,000円の一律支給を見直すべき。

【B委員】 見直し…事業内容を見直すべき

- ・特別研究枠が設けられているのは、予算のメリハリが付き、意欲のある学校にはより多くの費用が使えて良いと思う。その研究内容(資料にあった2校)も充実した取り組みになっていると思う。ただ、その他の学校については、予算消化のような印象を受ける。
- ・これは、取り組んでいる学校の問題というよりも、事業を展開している教育研究所の方に目的や目標、評価の視点を欠いているのではないかと思う。

【C委員】 見直し

- ・より有効な研修制度を検討し、特に担当教員レベルで研修の充実を進めるとともに委託料の有効活用を図ってほしい。

【D委員】 見直し…平塚市が今後も関与するべきだが方法を見直すべき

- ・教育研究所は、各学校の研究事業及び予算等について、事前に内容をヒアリングしてほしい。
- ・教育問題は平塚市にとって、最大の市民の関心事ですから、今まで通りでなくやはり新しい平塚の教育の目標、あり方を議論すべきだと思います。
- ・又、管理職の市政で学校のあり方、色もすっかり変わると思うので、会のあり方も是非考えてください。

【E委員】 見直し

- ・教育研究所で研究の方向性を決める。
- ・成果指標
- ・意欲のある学校により多く支援する。一律支援はやめる。